



船舶
IT

ORiON Plus

「チケットシステム」による 船員通信量管理

2016年 株式会社オルカ



従来の方法(1) ユーザーIDによる通信量管理

メリット

➡ 個人利用量まで管理可能

デメリット

➡ IDの管理が煩雑

- ・ 乗船下船時の対応
- ・ 船長業務に負担

➡ IDパスワードをハックされた時の
リスク





従来の方法(2) 通信総量による管理

メリット

➡ 船長の負担が著しく減る

デメリット

➡ 使いすぎる人と少ししか使わない人の不公平感





ID管理と総量管理の問題点を解消した新しい管理

➡ チケット発行による管理

- ・ 使用可能通信量（通信残量）

- ・ 有効期限

チケット発行例

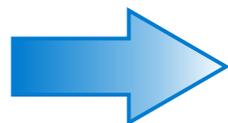
チケット番号: 143628971431	残量: 30MB	有効期限: 2016/2/29
-------------------------	-------------	--------------------





運用の手順（1）

- ・まず船長が人数分のチケットを発行・配布

 印刷して配る

チケット発行例

チケット番号: 143628971431	残量: 30MB	有効期限: 2016/2/29
チケット番号: 143628971432	残量: 30MB	有効期限: 2016/2/29
チケット番号: 143628971433	残量: 30MB	有効期限: 2016/2/29





運用の手順（２）

- ・ 使用者はログイン画面にチケット番号を入力してログイン

➡ チケット番号を入力すると残量を表示

LOGIN →

チケット番号:

ENTER





運用の手順（3）

➡ チケットに設定された残量を使い切ったら終了

WELCOME! ➡

30 MB available





メリット（1）

- ・チケットの発行のみなので、IDやパスワード管理をする必要がない
- ・利用する側の操作はシンプル
- ・ユーザーの通信量を完全に制限

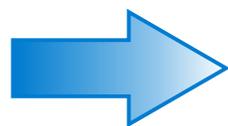




メリット（２）

・船員間でチケットの融通が可能

・船員が希望すれば、追加チケットを有料で発行可能



この場合、超過分通信料は会社に還元





船長側で操作できること

・チケットの発行とリストの印刷

・現在の利用状況確認

・追加チケットの発行

・一時的なインターネット接続の停止





ORiON Plus側に残る記録

・各チケットの

・発行日時

・発行通信量

・通信量残

・有効期限

・現在のステータス





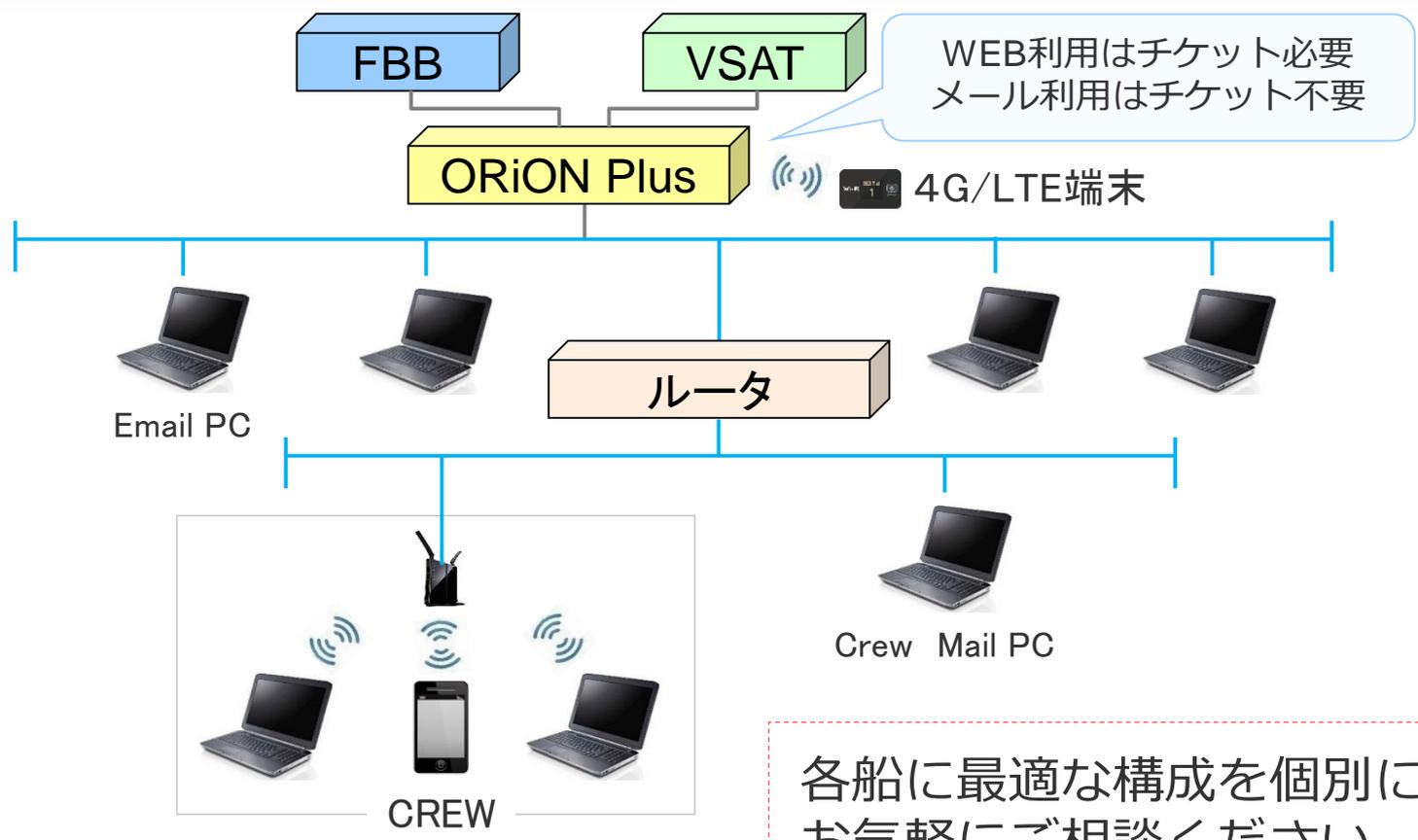
ORiON管理者の設定

- ・各チケットあたりの単位通信量
- ・有効期限（一月、または一日）





導入に関して



各船に最適な構成を個別に提案します。
お気軽にご相談ください。



ご検討の程宜しくお願いいたします。



ORCA CO., LTD.
Simple & Effective